
東京港青海コンテナターミナル向けに「高度化ゲートシステム」を受注

- 港湾ターミナル運営の省力化・効率化に貢献 -

株式会社 TMEiC(社長:川口 章、以下「TMEiC」)は、東京港青海コンテナターミナル向けに「高度化ゲートシステム」*1を受注しました。AI・DX 関連技術を活用した本システムを通じ、港湾ターミナル運営の省力化・効率化、及び作業員の負荷低減に貢献します。

ゲートシステムは港湾ターミナルに出入りするトラックやコンテナの情報を記録、管理するためのシステムです。現在多くのターミナルゲートで、作業員がコンテナのダメージチェックや車両番号・コンテナ番号の確認、入出場の記録などを目視で行っています。

このため、港湾ターミナルでは、ゲート周辺のトラック渋滞解消に加え、将来的な労働力確保といった課題も抱えており、人手で行われているこれらの作業を迅速化・効率化するソリューションが求められていました。

TMEiCは、これまで培ってきた豊富な知見・エンジニアリング力をもとに港湾自動化・AI・OCRの専門知識を活用した「高度化ゲートシステム」を開発しています。本ゲートシステムは、世界各地で導入実績があり、ゲート周辺の人手で行われている作業の省力化・効率化及び作業員の負荷低減を実現することで港湾ターミナル業務のDXに貢献しています。

今回受注した「高度化ゲートシステム」の特長は以下となります。

1. コンテナダメージチェック機能搭載により、ターミナルゲート作業の省力化・効率化を実現

本ゲートシステムは、AI技術を活用したコンテナダメージチェック機能を有しており、従来、目視で行われていたコンテナ損傷状態の検査をシステムが補助することで、ダメージチェック作業の省力化・効率化と精度向上を実現します。

2. ゲート入出管理のシステム化により、港湾ターミナル運営の効率化に貢献

トラックの車両番号、コンテナ番号、危険物コードを本システムで認識・チェックすることで、ゲート作業にかかる時間を短縮、トラック渋滞を緩和します。これらの情報は、荷役計画・作業指示、ヤード管理、船舶計画管理に使われる港湾ターミナルの基幹システム「Terminal Operating System(TOS)」と連携し、港湾ターミナル運営の効率化に貢献します。

産業・エネルギーシステム第二事業部 副事業部長 西谷和宏 コメント:

「高度化ゲートシステムは、国土交通省が提唱する『ヒトを支援するAIターミナル』構想における中核事業の一つであり、現在、国内複数港で導入の検討が進んでいます*2。TMEiCはクレーンの自動化・遠隔化システムや運転アシストDXシステム等の港湾ソリューションをグローバルに提供し、世界各地のお客様に導入いただいています。今後もTMEiCは、国内外の港湾ターミナル運営の高度化に貢献する製品の開発と提供に取り組んでいきます。」

*1 港湾ターミナルにおけるトラック等の搬出入ゲートにおいて、各種カメラ・センサー・画像認識・AI・データ連携等を活用することで、混雑緩和や作業効率化を実現するシステム。

*2 国土交通省はゲート高度化を支援するための補助制度を準備しており、日本の戦略港湾の一つである東京港 青海コンテナターミナルにおける本高度化ゲートシステム導入事業は令和7年度採択事業の一つとして採択済み。

参考: https://www.mlit.go.jp/kowan/kowan_fr2_000065.html

報道関係からのお問い合わせ先

株式会社TMEIC 経営企画本部 ブランドコミュニケーション部 <https://www.tmeic.co.jp/>

〒104-0031 東京都中央区京橋3-1-1 東京スクエアガーデン Tel: 03-3277-4319 Fax: 03-3277-4578

TMEIC(ティーマイク)は、社会を支える基盤である「ものづくり」の現場ニーズにお応えするために、社会の発展と美しい地球環境とを調和させる産業システムインテグレータとして、「産業」「社会」「環境」の未来を常に見据えています。工場・プラントにおいて原動力となっている回転機、電力を変換・制御するパワーエレクトロニクス、そしてプラント全体を計画し実現するエンジニアリング、これらの技術をコアに、ものづくりと環境マネジメントに最先端の技術で貢献していきます。